

かえで通信

令和元年8月
第28号

発行人
大竹大輔を育てる会
伏見 幸久

ご挨拶

残暑見舞い申し上げます。

空の青さにいくぶん秋の気配を感じる今日この頃です。皆さま、いかがお過ごしでしょうか？

まだまだ、暑い毎日が続いておりますので、水分、塩分、炭水化物などをバランス良く摂取していただき、熱中症対策に心掛けていただきたいと思います。

さて、先月は参議院議員通常選挙が行われ、今年は、4年に一度の統一地方選挙と、3年に一度の参議院選挙が同じ年に実施される『選挙イヤー』の年です。

各選挙の状況を見ると投票率が低下している選挙や、無投票の選挙が数多くありました。

投票率の低下や無投票には、いろいろな要因があるかと思いますが、その一つに政治や議会への期待や関心が希薄化していると私は考えます。

地方議会や議員の必要性が問われている昨今、二元代表制の一翼を担う各務原市議会議員として、行政のチェックや地域とのパイプ役のみならず、どのような街づくりに取り組んでいるのか、また、各議員はどのようなビジョンを持ち、それらに邁進しているのか、地域の皆さんに正しくお伝えすることは、議員の職務の一つです。

今後も「ふれあいミーティング」などの市政報告会やかえで通信、そしてホームページ等で正しい情報発信と私自身の街づくりのビジョンをお伝えし「いつまでも住み続けたいまち、かかみがはら！」の実現に向け邁進して参ります。

各務原市議会議員 大竹 大輔



9月議会はこれを問う！(予定)

土砂災害警戒区域の状況について

・本市の土砂災害対策について、平成26年、平成29年に一般質問をして参りました。平成29年5月に完了した松が丘地区の治山工事は、岐阜農林事務所により愛宕山斜面からの土砂流失の防止と軽減を図るために堰堤などを設置したもので、岐阜土木事務所において土砂災害防止法に基づく現地調査を実施しており、調査結果がまとめられました。土砂災害特別警戒区域、いわゆるレッドゾーンの指定範囲に係る変更告示は今現在どのようにになっており、その告示内容は本市の土砂災害ハザードマップにどのように反映しているか質問します。

合葬式墓地供用開始について

・10月1日から供用開始となる合葬式墓地は、内覧会では多く申し込みがあり、関心の高さが伺えます。受付は随時行うとなっておりますが、供用開始当初は、受付体制の充実が必要であると考えます。どのような体制で対応するのか質問致します。また、合葬式墓地の需要が多くなれば第2の合葬式墓地の検討も必要であると考えます。今後の公営墓地の在り方について質問致します。

離婚に伴う子の福祉を行政はどのように支援するのかについて

・多様化する価値観やライフスタイルなどは、子どもが成長する過程に大きな影響を与えると考えます。そのような状況下、両親の離婚や離別が子どもの成長に与える大きな影響に対しては、プライバシー

